

加盟団体 各位

役員 各位

(公社) 全日本アーチェリー連盟

競技部 津田 正弘

(印省略)

2022 年度 競技規則改正について

平素は本連盟の諸事業に対して格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて昨年 9 月の WA 総会および 12 月の理事会において、競技規則の改正が発表されました。

これを受けまして本連盟の競技規則を改正いたしますので、ご連絡申し上げます。

記

1. 全日本アーチェリー連盟競技規則 (2022~2023 年) の主な改正点

① 種別名称の変更

キャデット ⇒ U18

ジュニア ⇒ U21

マスター ⇒ 50+

② 部門名称の変更 (フィールド・3D)

インスティンクティブ部門 ⇒ トラディショナル部門

③ パラアーチェリーの種別変更

リカーブ、コンパウンドおよび W1 オープン部門の 団体戦 (同じクラスの同性 3 名) を削除し、「ダブルス」 (同じクラスの同性 2 名) 「ミックス団体」 の追加

④ フィールド・3D の個人戦マッチ戦での対戦グループの変更

プール A の勝者 v s プール B の勝者 ⇒ プール A の勝者 v s プール D の勝者

プール C の勝者 v s プール D の勝者 ⇒ プール C の勝者 v s プール B の勝者

⑤ インドアラウンドの屋外での実施を許可 (記録を公認)

⑥ シュートオフ時の標的位置の変更

個人戦の時、「それまで競技していた標的 (A・B・C または D) の標的面を行射」を削除し、「コンパウンド部門で 80 cm-6 リング標的面をバットの中央に設置」を追記

⑦ 服装規定の一部変更

アンダーシャツ、コンプレッションシャツおよびコンプレッションスリーブの色はユニフォームの 主要な色と同色もしくは白色

⑧ ベアボウ部門の用具の解釈の変更

センターサービングの巻き終わりの追記

おもり、ダンパー、の解釈の変更 (ライザー上部にも装着可)

リムセーバーはダンパー等と同様の扱い

⑨ 行射時間の変更

a 本連盟主催の競技会

予選ラウンド、交互射ちではないイリミネーション～ファイナルでは、
1射あたり 30 秒。

b その他のすべての競技会

2023 年 3 月 1 日まで

予選ラウンド、交互射ちではないイリミネーション～ファイナルでは、
1射あたり 40 秒。ただし、要項等にあらかじめ記載することによって、
1射あたり 30 秒 とすることもできる。

2023 年 3 月 2 日以降については、あらためて通達。

⑩ 用具故障、医学的問題の修理、交換、快復に必要な特別時間の廃止

2. 今後の対応

① 2022 年 4 月 1 日より改正施行

② 改正内容の新旧対比表を発行し、加盟団体に配信（3 月上旬～中旬予定）

③ 競技規則伝達講習会を実施（WEB開催にて 3 月上旬～中旬予定）

④ 新競技規則をホームページ上に公開（3 月下旬予定）

新ルールブックについては、5 月～6 月を目途に発行

以上